



～めあての提示～

1.めあてを提示する価値

皆さんは、授業でめあてを提示していますか？

めあての提示＝生徒にできてほしいこと、今日の活動内容の提示を意味しています。極端な話ですが、保健体育で持久走をする際、距離を言わずに行うことはありえませんよね。

めあてを提示することで、活動内容を生徒に示すものはもちろん、教師が求めるゴール地点を生徒と共有することにも繋がります。

めあてを提示することは重要であり、めあての表現（問いかけ）一つで、生徒の活動内容やゴールが変わってしまうと言われています。

もし、授業でめあてを提示していない人がいるなら、、、今日から提示していきましょう！

今回の夢通信は昨年度に発行したものです。通信内にある『具体的な生徒の姿』とは、『授業を通して、身につけさせたい力を習得した生徒の具体的な姿』を意味しています。

～臼杵が授業します～

6月11日から臼杵が2年3組にて1単元（短歌）の授業を行います。（授業する日時は改めて連絡します。）

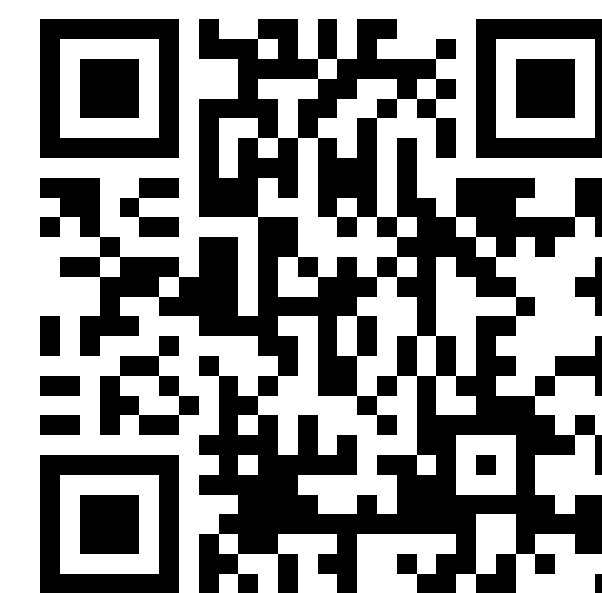
- ①生徒に身につけさせたい力を国語の授業を通すとどうなるのか。
 - ②生徒に委ねる教科探究（①の力を使う場の設定）とはどういうことか。
 - ③単元ベースの授業作り（単元計画）とはどういうことか。
- 意識して授業作りを考えていますので、お時間があれば見に来てください。

～参考にした動画紹介～

臼杵が授業する（授業づくりについて勉強する）うえで、みた動画を一部紹介します。

『板書・机間指導・ノート指導』（森本和寿氏）

3つのやり方について紹介しています。先日の指導助言でもあった【構成的板書】についても言及しています。

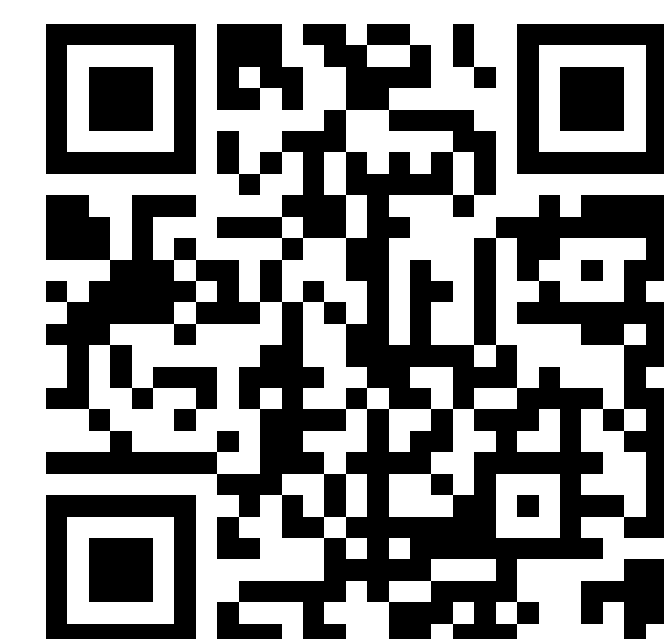


『高次の資質・能力の上限を定めよー単元を超えるか否かー（次期学習指導要領にむけた審議まとめの方向性）』（溝上慎一氏）

次期指導要領について、複数回に分けてまとめられています。

この回は『単元学習とは何か』ということを変更して説明されています。

※9分ぐらいから再生してください。



～教えて！ICT～

ロイロが導入され、わからないことも出てきたと思います。そこで、サポートデスクを作りました。

これは『Note bookLM』というAIに【スズキ】【百問繚乱】【eライブラリ】【ロイロ】のマニュアルを読み込ませたものです。

例えば、「ロイロでアンケートを作りたいけどどうすれば良いかわからない」と聞けばマニュアルから情報を探し、やり方を教えてくれます。

普通のAIと違う点は、与えられたマニュアルからしか答えを出さない、という点が違います。（ハルシネーションが起らないという点が利点です）

※試験的に作ってみたので、ぜひ活用してください。（うまくいかない時はお声がけを）

※過去のNotebookLM紹介通信URL（データ）とサポートデスクURLを貼り付けておきます。

【過去の紹介通信】

個人情報
のため省略

【NotebookLM】

個人情報
のため省略